第１回 北広島市史跡旧島松駅逓所保存活用に関する懇話会

日　　時	令和７年７月 23 日（水）15:00～16:00
会　　場	広葉交流センター1 階 交流室
出 席 者	角 幸博（座長）、藤井 浩（副座長）、平井 卓郎、圓谷 昂史、中井 誠一
オブザーバー	文化庁文化財第二課　主任文化調査官　市原 富士夫（オンライン） 北海道教育庁生涯学習推進局 文化財・博物館課　主査　内田 和典 北海道教育庁生涯学習推進局 文化財・博物館課　主査　二神 有貴子 北広島市建設部都市整備課長　北口 馨 北広島市建設部都市整備課参事　森田 寿雄 北広島市建設部都市整備課主査　浅野 静男 北広島市建設部都市整備課主任　臼木 幸大 北広島市経済部観光振興課長　熊谷 遼三 北広島市建設部建築課長　瀬田松 秀一 北広島市建設部建築課主査　真田 朋幸 北広島市建設部建築課主任　田中 大樹 工事監理業者　北電総合設計株式会社　宮越 達也 工事監理業者　北電総合設計株式会社　大日向 宣也 展示製作業務委託業者　株式会社乃村工藝社　深尾 望 展示製作業務委託業者　株式会社乃村工藝社　加藤 明 展示製作業務委託業者　株式会社乃村工藝社　髙杉 良介
事 務 局	北広島市教育部教育部長　吉田 智樹 北広島市教育部エコミュージアムセンターセンター長　渡邉 篤広 北広島市教育部エコミュージアムセンター主査　畠 誠 北広島市教育部エコミュージアムセンター主任　黒田 弘子 北広島市教育部エコミュージアムセンター主任　吉村 くるみ
会議次第	1　開　会 2　意見交換事項 ・令和７年度の工事予定、工事状況について ・柾葺き固定用釘の仕様について ・旧島松駅逓所展示更新について 3　その他 4　閉　会

１　開会

２　意見交換事項

・令和７年度工事予定・工事状況について

事務局より別紙 1 工事全体工程表にて工程を説明、工事状況は資料１にて仮設工事状況、耐震補強工事状況を説明

（8 月お盆明けより屋根柾葺きを開始、9 月 23 日(祝日）に工事状況市民見学会を実施予定、防腐剤処理について、5 月 27 日下川町下川フォレストファミリーの工場見学を実施、防腐剤処理は「乾式処理」で実施、工場視察映像を視聴）

・屋根柾葺き固定用釘の仕様について
事務局より資料２に沿って説明
SUS のスクリュー釘が浮く事象も発生しているため、近年柾葺きで使用実績のある SUS の丸釘を使用することが望ましいと考える

・旧島松駅逓所展示更新について
事務局より資料 3～5 に沿って説明
欠席構成員のご意見を聞き取り
・動線について A/B の２ルートの想定が望ましい
・グラフィックパネルの設置位置は建物の長押の高さに合わせてほしい
・赤毛解説は廊下に赤毛の造形物が設置されるのは違和感がある
・スタンプラリーについては建物内のみではなく、他の施設を周遊できるような工夫があっても良いのでは

・構　成　員：森先生ご指摘の項目について回答できるか。
・構　成　員：動線は今後展示内容を詰めていくうえで検討をする。
グラフィックパネルの設置位置についてはご指摘の長押の高さに合わせる。
赤毛についても今後展示手法も含めて検討をする。
・構　成　員：展示ケース等を設置予定ではあるが、枯らしの期間も見ておいて欲しい。
展示に使用する機器関係は冬季の低温に対応できるものを採用してほしい。
・構　成　員：赤毛については中山久蔵と絡めて解説しても良いのではないか。
・構　成　員：赤毛は現在のお米とつながりはあるか？あれば現在までのつながりを解説しても良いのでは。
・事　務　局：ゆめぴりかなど現在のお米にもつながりはある
・構　成　員：スタンプ台の設置位置は多人数に対応できるような工夫が欲しい。
・構　成　員：スタンプラリーは子供でも対応できるような工夫が欲しい。
・構　成　員：スタンプ台にはガイドが付いておりどなたでも完成できるはず。
・構　成　員：混雑時の抜け道は？
・事　務　局：これから検討する、今後不満が出ないような動線や設置位置の工夫は必要と思われる。

３　その他
・事　務　局：次回の開催は令和７年 10 月を予定。

４　閉会